

取扱説明書 Ver 1.00

SSD-712

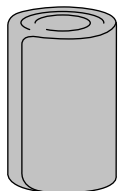
ミニツツドーム Pro.air 1



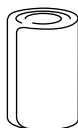
このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用のテントです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容

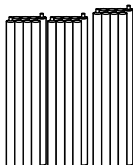
セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。



フライシート×1



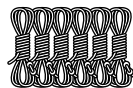
インナーテント×1



クロスフレーム×2
前室フレーム×1



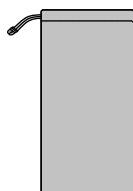
ジュラルミン
V型ペグ×15



自在付ロープ
(2.5m×2、2m×4)



リペアパイプ×1



収納ケース×1



フレームケース×1



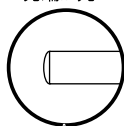
ペグケース×1



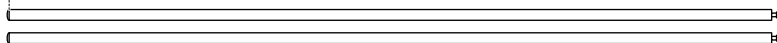
取扱説明書
(本書)×1

フレーム構成

先端が丸い



クロスフレーム×2



前室フレーム×1



安全上の注意事項 ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- このテントの素材は難燃性ではありません。テント内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などの恐れがあり大変危険です。
- テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候によりテント内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。

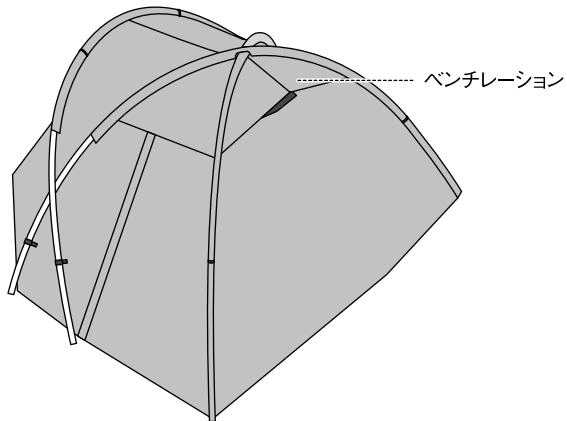
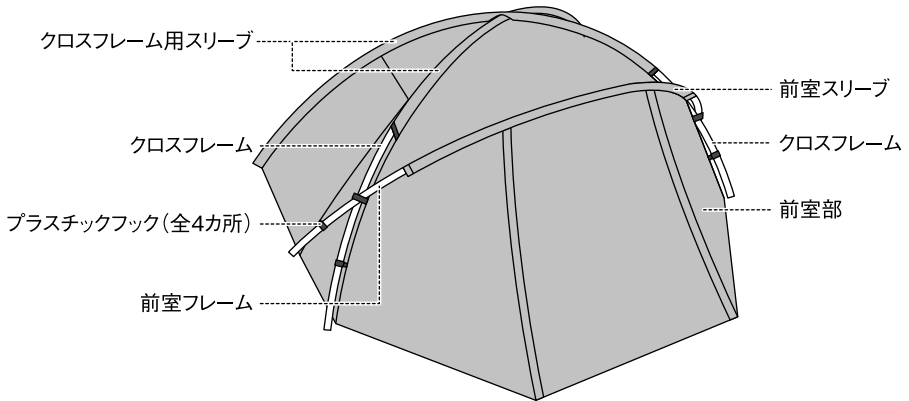


⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

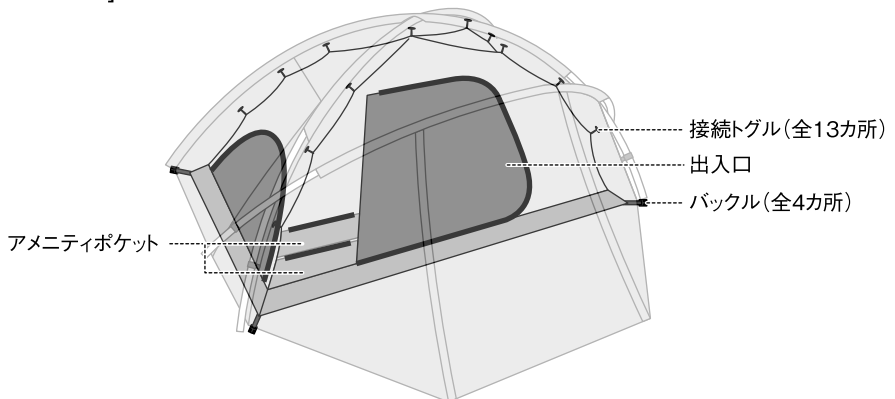
- 本製品は常設用ではありません。テントの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりテントの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- 樹液が付着するときれいに除去することができません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。シンナーやベンジン等の有機溶剤により無理に除去しようとすると生地やコーティングを痛めてしまいますのでおやめください。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう生地とフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返り等で思わぬ事故に繋がる恐れがありますので、必ず周囲の安全を確認して作業してください。
- ペグとロープでしっかりとテントを固定してください。
- 石や枝などの鋭利な突起物のない、平坦な場所でご使用ください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損する恐れがあります。ご注意ください。
- 足もとのロープやペグ、ビルディングテープ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- インナーテント内には小物を吊るすループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

各部の名称

[フライシート]

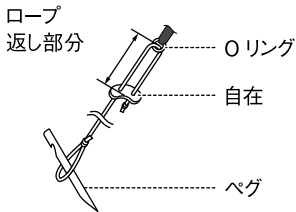
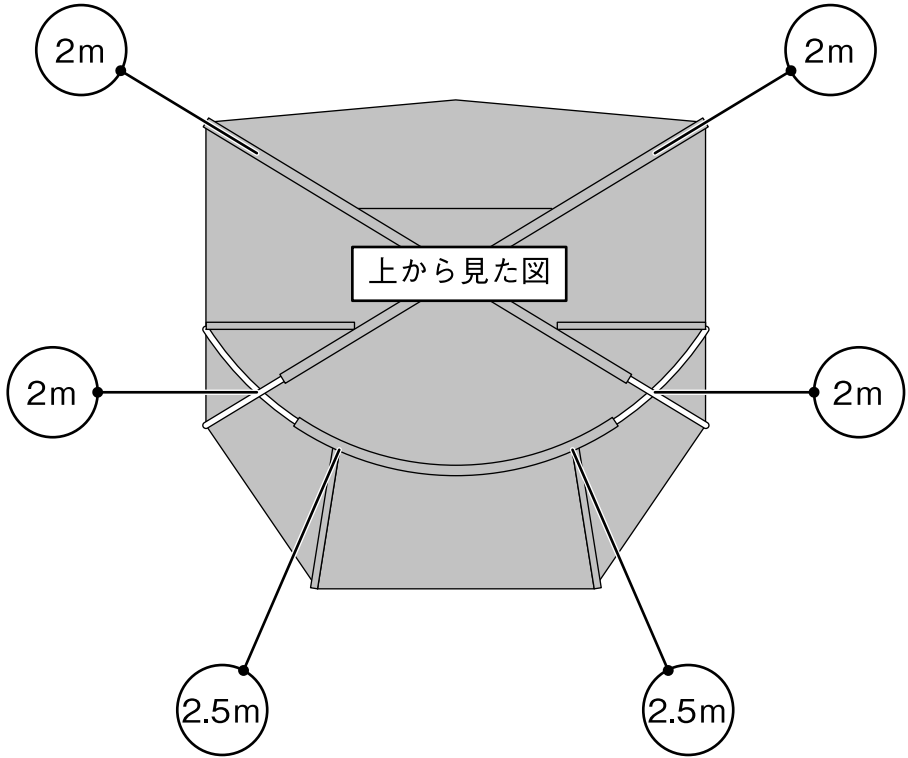


[インナーテント]

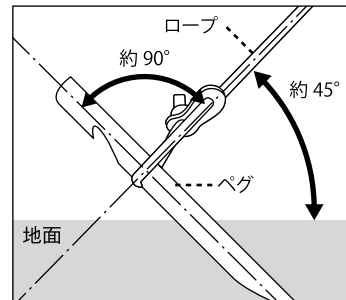


自在付ロープのフライシートへの取り付け、ペグダウンの位置

自在付ロープのフライシートへの取り付け、ペグダウンは下図のように行ってください。



ロープの自在が付いている返し部分が○リング側に来るように取り付けてください。クロスフレームと前室フレームの交差部ではリング付ロープの先端にあるリングに同様に取り付けてください。

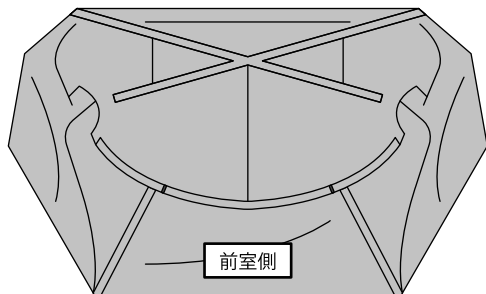


ペグダウンはテントからできるだけ遠くに行ってください。設営したとき、ロープの角度が地面に対して約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。

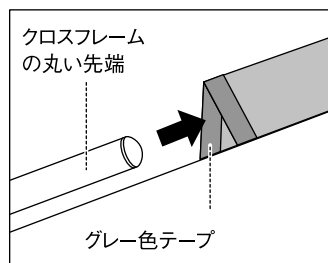
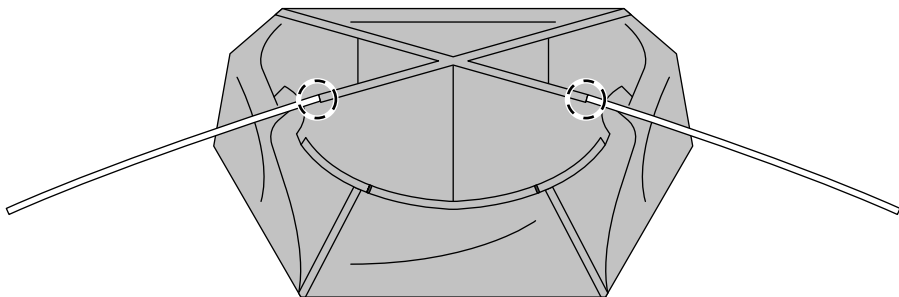
設営の手順

設営・撤収は以下の説明に従いキャンプ前に繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。
無理な設営・撤収は本体やフレームの破損や事故の原因になります。
キャンプに行く前にセット内容に不備がないことを必ず確認してください。

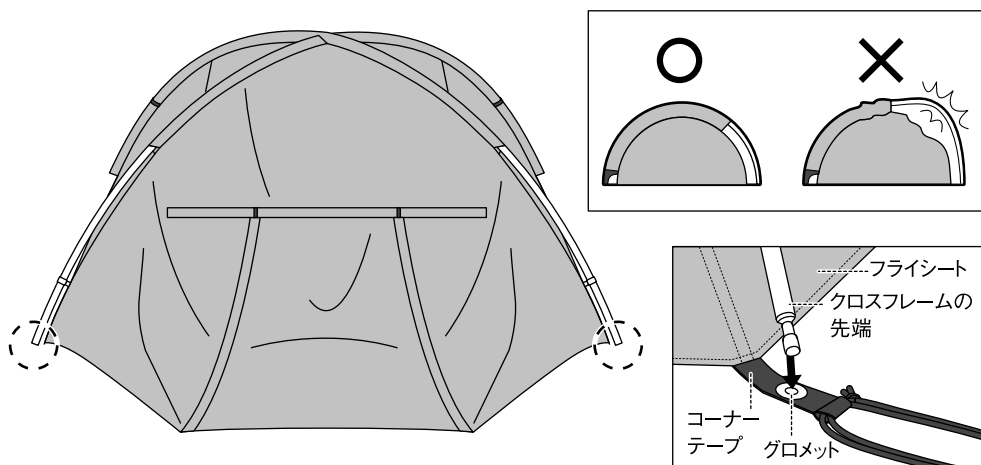
- ① 設営する平坦な地面にフライシートを広げてください。
※風があるときは前室側が風下を向くように設営してください。前室側を風上に向けると、雨風が侵入したり、突然風が入り本体が飛ばされたり、破損する場合があります。



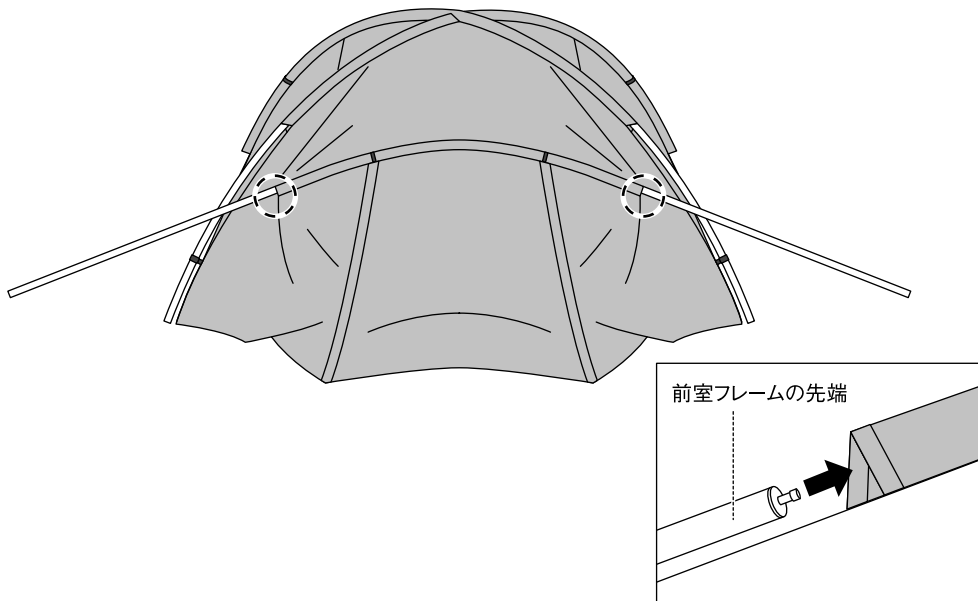
- ② クロスフレーム2本を組み立て、インナーテントのグレー色のテープが付いたスリーブに差し込んでください。
クロスフレームは必ず丸い先端から差し込み、スリーブの突き当たりまで確実に押し込んでください。
※フレームを組み立てる際はジョイント部が奥まで差し込まれていることを確認してください。
※フレームを差し込む際には、必ず押し込んでください。フレームを引っ張ると、ジョイントがはずれ、接続が不十分になることがあります。
※差し込む際にフレームの先端の形状とスリーブのテープの色(グレー色)を確認してください。



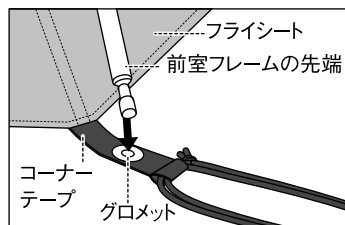
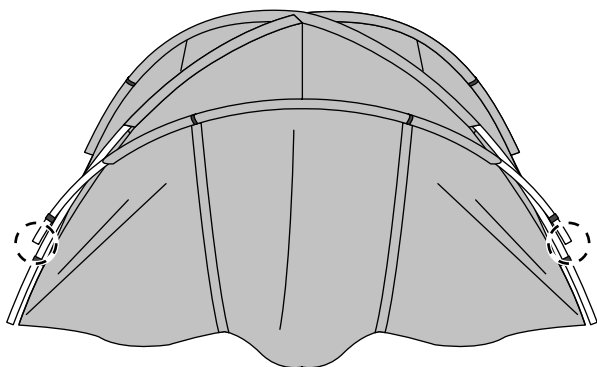
- ③ クロスフレームの前室側の先端をコーナーテープにあるグロメットに差し込んでください。コーナーテープはクロスフレームを差し込んだスリーブから縫い目をたどった先にあります。
 ※スリーブのしわを伸ばすようにスリーブを引っ張り、調整しながらゆっくりとフレームを差し込んでください。スリーブにしわがある状態で無理に差し込もうとすると、フレームの手前側が大きく湾曲し、フレームが破損する原因になります。よく注意して差し込んでください。



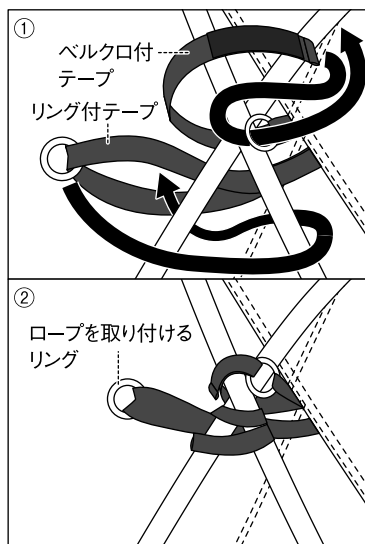
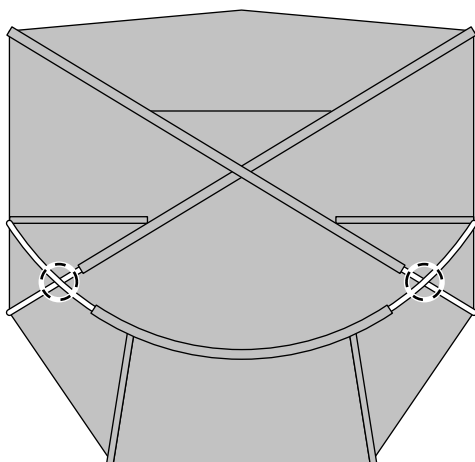
- ④ 前室フレームを組み立て、フライシートの前室スリーブに通してフレームとスリーブの中心が合うまで押し込んでください。
 ※フレームを組み立てる際はジョイント部が奥まで差し込まれていることを確認してください。
 ※フレームを差し込む際には、必ず押し込んでください。フレームを引っ張ると、ジョイントがはずれ、接続が不十分になることがあります。



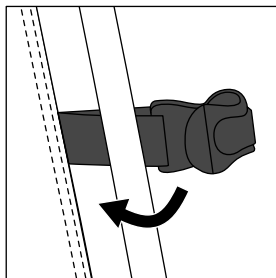
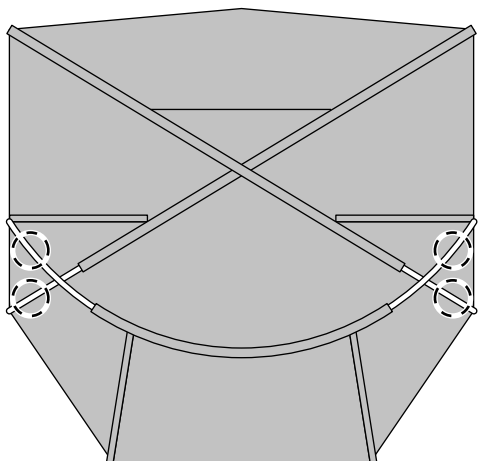
- ⑤ 前室フレームの両端をコーナーテープにあるグロメットに差し込んでください。コーナーテープは前室スリーブから縫い目をたどった先にあります。
 ※クロスフレームと前室フレームが交差する箇所では前室フレームが上になるようにしてください。



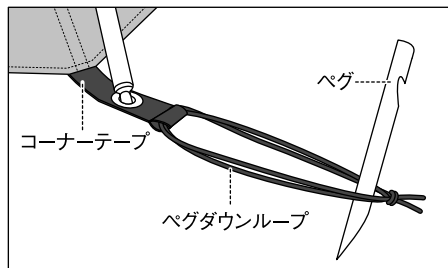
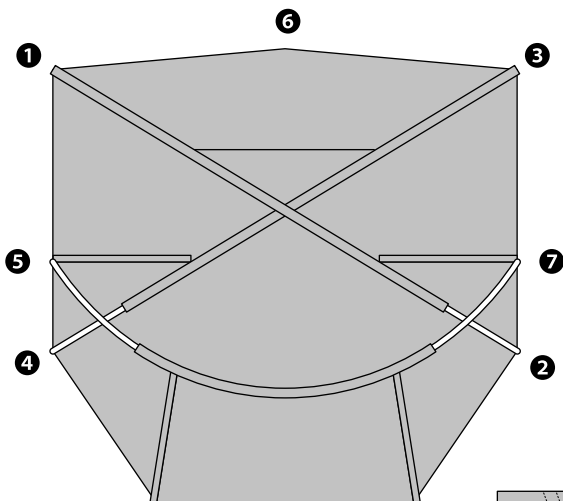
- ⑥ クロスフレームと前室フレームが交差する箇所にあるベルクロ付テープおよびリング付テープをクロスフレームと前室フレームの交差部に巻きつけてください。リング付テープの先端にあるリングにロープを取り付けます。



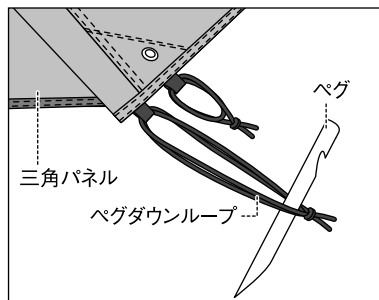
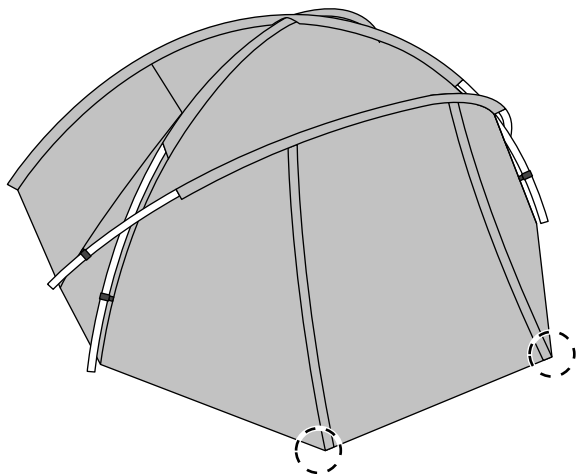
- ⑦ フライシートに付いているプラスチックフックを各フレームに引っ掛けてください(4カ所)



- ⑧ 各コーナーに付いているペグダウンループにペグを通し、図の番号順に軽く引きペグを打ち込んでください。(7カ所)

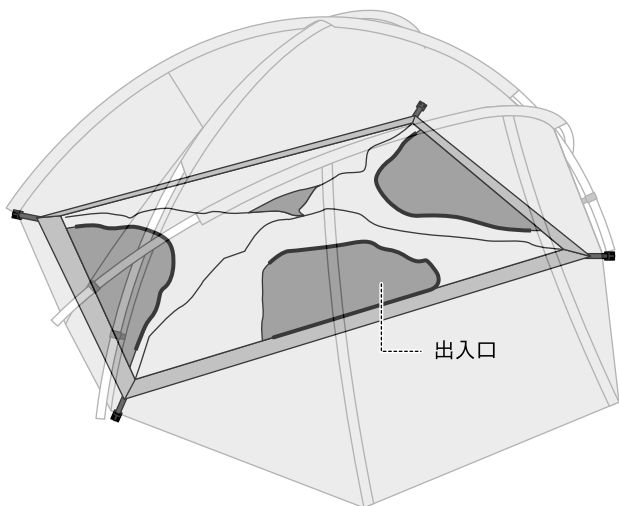


- ⑨ 前室の先端を引き、前室の三角パネルについているペグダウンループにペグを通し打ち込んで固定してください。
※前室は引き過ぎるとファスナーに負担がかかり破損する恐れがあります。引き過ぎにご注意ください。

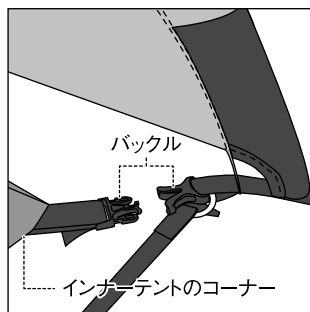
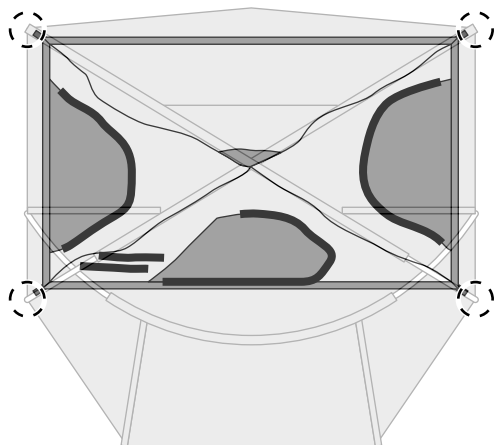


- ⑩ P4の「自在付ロープのフライシートへの取り付け、ペグダウンの位置」の図のように各自在付ロープをフライシートに取り付けて引き、ペグで固定してからテンションをかけてください。

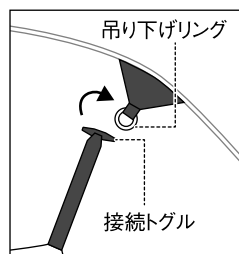
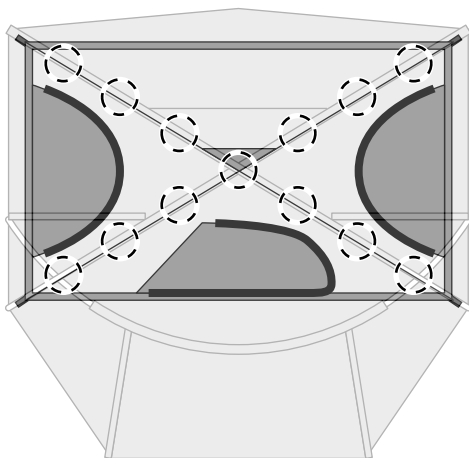
- ⑪ インナーテントの出入口が前室の方向に向くようにフライシートの中に広げてください。



- ⑫ インナーテントのコーナーとフライシートのコーナー内側にあるバックルを接続してください。(4カ所)
※テープがねじれないようにバックルの向きに注意してください。



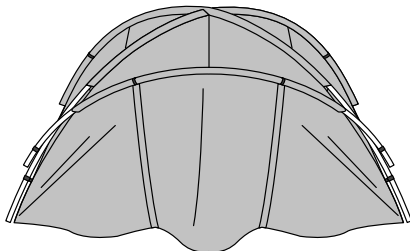
- ⑬ インナーテントの接続トグルをフライシート内側にある吊り下げリングに引っ掛けてください。取り付ける順番は奥側の下の方より上に向かって順番に取り付けてください。(13カ所)



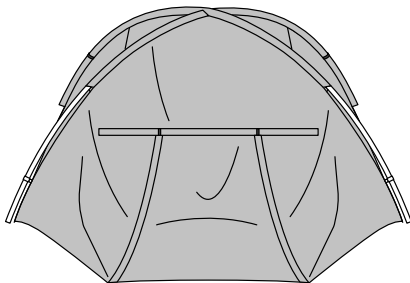
撤収の手順

撤収は設営と逆の手順で行ってください。テント内にもが入っていないことを確認してから作業を開始してください。インナーテントの出入口のファスナーを少し開いておくことで巻き取りやすくなります。ビルディングテープのトグルはフライシートのリングから取り外さないでください。次回設営時にベグダウンしやすくなります。

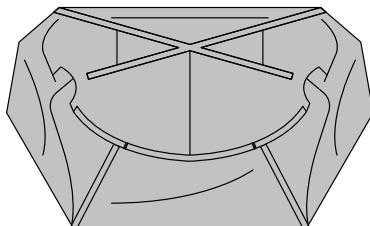
- ① すべてのベグを地面から抜き取り、自在付ロープをまとめてください。インナーテントはフライシートに接続したままの状態でも撤収が可能です。取りはずす必要がある場合は、ベグを抜き取る前にすべての接続トグル、バックルをはずしインナーテントを抜き取ってください。
※風が強い場合は風上側にあるテントボトムベグは抜き取らずに残してください。



- ② すべてのプラスチックフック、ベルクロ付テープおよびリング付テープをはずし、前室フレームをフライシートから取り出してください。
※フレームをグロメットからははずすときは必ず手でフレームをつかんでください。フレームが跳ね上がり大変危険です。
※スリーブからフレームを取り出す際は、周りの状況をよく確認し必ず押し出しながら取り出してください。



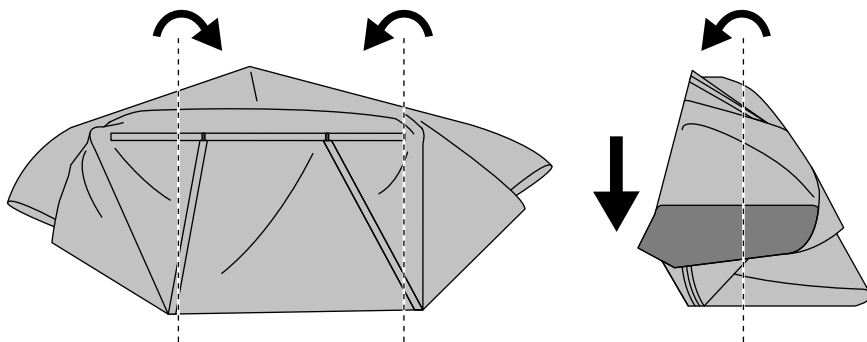
- ③ クロスフレームをフライシートから取り出してください。
※フレームをグロメットからははずすときは必ず手でフレームをつかんでください。フレームが跳ね上がり大変危険です。
※スリーブからフレームを取り出す際は、周りの状況をよく確認し、必ずスリーブの突き当たりから押し出しながら取り出してください。
※ベグを残している場合は、フレームをはずした後にすべて抜き取ってください。



- ④ フライシートとインナーテントをキャリーバッグの幅に合うよう図の様に折りたたみ収納してください。

フライシートのたたみ方

※インナーテントが付いていても同様の手順でたたんでください。

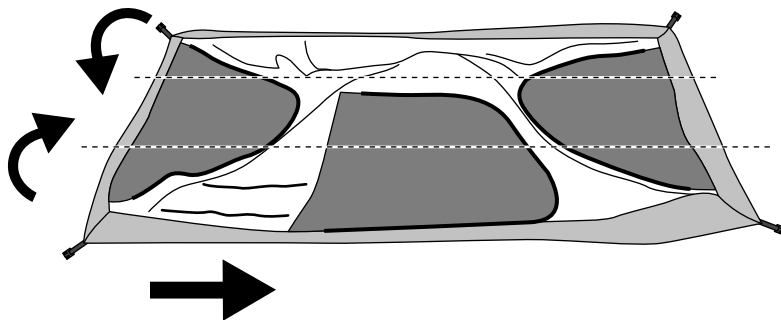


① 縦に3つ折りしてください。

② 縦に2つ折りして矢印の方向に巻いてください。

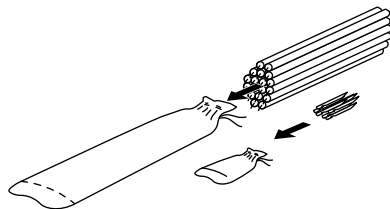
インナーテントのたたみ方

※インナーテントをフライシートから取りはずしている場合



① 横に3つ折りして矢印の方向に巻いてください。

- ⑤ フレームやペグは付属のフレームケース、ペグケースに入れてキャリーバッグに収納してください。



撥水・防水性能について

- 本製品のフライシートやボトムの生地には撥水加工を施していますが、生地特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- ボトムにはPUコーティングを施してありますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

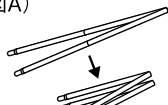
紫外線の影響について

- テントの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

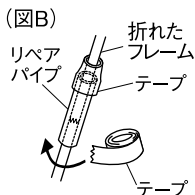
メンテナンス・保管

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせで使用しています。生地特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移りや劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかなブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食したり、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。(図A)
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると、摩耗や破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたいが剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次回の使用に備え、ロープやベグなどの付属品も含め、上記の通り十分に保守、点検をしてください。
- 使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかに付属のリペアパイプをあて、ビニールテープで固定するか、撤収をしてください。(図B)

(図A)



(図B)



品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

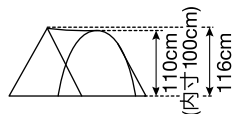
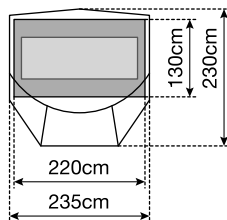
○セット内容:テント本体、クロスフレーム(×2)、前室フレーム(×1)、
ジュラルミンV型ペグ(×15)、自在付ロープ(2.5m×2、2m×4)、リ
ペアパイプ、収納ケース、フレームケース、ペグケース

○材質:フライシート/20Dシリコンポリエステルミニリップストップ・
PUコーティング耐水圧1,500mmミニマム、インナーウォール/
20Dポリエステルミニリップストップ、ボトム/30Dナイロンリップス
トップ・PUコーティング耐水圧1,500mmミニマム、フレーム/ジュラ
ルミンA7001(φ9.5mm)

○収納ケースサイズ:20×20×59(h)cm

○重量:2.95kg

○対応人数 1~2名



不明な点やお気付きの点がございましたら、
販売店様または弊社ユーザーサービスまで
お問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

☎ 0120-010-660 (9:00~17:00)

E-mail: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

tel:0256-46-5858 fax:0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA